



佐野 愛  
(平成15年生まれ・宮城野)

「エースを目指して」

私は今年、小学校の最高学年になります。  
私は、お兄ちゃんやお姉ちゃんが入っていた「箱根フリッパーズ」という少年野球チームに入っています。少年という男の子のイメージがありますが、私みたいに女の子も箱根フリッパーズに入ることができます。  
私は将来、女子プロ野球選手になりたいです。女子プロ野球選手になるためには、今年の目標はピッチャーとして活躍して、チームの勝利に貢献したいです。ピッチャーをするためには体を作らなければいけません。そのためには、チームの練習だけではなく、走り込みやシャドーピッチングをきちんとやっていき、結果を残していきます。



勝俣 和太  
(平成3年生まれ・仙石原)

「未来への一步」

新年明けましておめでとうございます。  
今年是一年男ということですが、振り返ってみると中学、高校そして大学とさまざまな環境での生活を経験してきました。今ではその時の生活への驚きや戸惑いが懐かしく感じられます。  
正直、楽しいことよりも辛いこと、悲しいことばかりだった気がしますが、その中で出会ったかけがえのない方々や家族の支えのおかげで、自分らしくマイペースにどんな日々も送ることができたと感じています。  
このような節目の年に、人生の一つの分岐点でもある就職活動が始まります。今まで経験のないことなので不安でいっぱいですが、就活は改めて自分自身と向き合い見つめ直すいい機会だと思っています。  
そして、さらに精進しながらも自分らしさを忘れず、次へ向けて新たな一歩を踏み出していきたいです。



土屋 賢太  
(昭和54年生まれ・小涌谷)

「新年を迎えて」

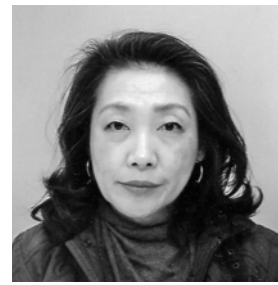
明けましておめでとうございます。  
今年で3回目の干支を迎える年になりました。年を重ねるたびに「一年が過ぎるのは早い」と聞きますが、最近はとてもそれを実感しています。  
箱根に帰ってきて約6年、やはり箱根が一番落ち着く場所です。箱根の自然の中にいると、ぼお〜っとしてしまい、いつの間にか月日が経ってしまいます。  
なので、今年は一日一日を大事に、一年を通じて充実した日々を送れるよう努力していきたいと思います。



中村 忠仁  
(昭和42年生まれ・元箱根)

「感謝します」

新年明けましておめでとうございます。  
箱根町で生まれ物心ついたときから、箱根は「国際観光地」と呼ばれ、近所に出掛けると外国人がいたり、他県の修学旅行の生徒がいたりすることに特別な意識はありませんでした。  
今、町内の観光事業所に勤務し、外国人や修学旅行などの誘致に、皆さんが大変努力をしていることを感じています。  
2020年に東京オリンピックが開催されることになり、箱根は今後ますます外国人やたくさんの観光客に対応していかななくてはなりません。  
先輩方が作ってきた「国際観光地箱根」が、より発展していくよう努力し、住民として子どもたちが将来住みよい箱根であることを望みます。



土屋 陽子  
(昭和30年生まれ・湯本)

「はこねと私」

はこね。母の実家が旅館を営んでいたことで、幼い時から祖母に連れられて訪れた思い出多き地である。ここに縁あって嫁ぐことになり、早いもので人生の半分以上を過ごしている。  
若き日の私にとっての箱根は、日常とは違った、華やぎのある、毎日が夢の中にいるような日々であったように記憶している。  
新宿駅でロマンスカーを待つときのわくわく感。帰る日の悲しい気持ちを多くのお客様がさまざまな思いを込めて訪れる箱根。  
この美しい自然や、それぞれのおもてなしの心を、変わることなく提供することのできる、安らぎの地であり続けられることを願ってやまない。  
その心を大切に持つ者の一人として。



新年のひとこと

私たち「未年」から



一町の主な出来事一

- 【昭和42 (1967) 年】
- 前年に迎えた箱根町10周年記念事業の一つとして「箱根町誌」第1巻を発刊 (3/31)
- 常陸宮殿下、同妃殿下をお迎えし全国から2,000人が参加の下、国立公園大会を開催 (8/10・11)
- 【昭和54 (1979) 年】
- 鎌倉時代をしのいで散策できる芦之湯史跡探勝歩道が完成 (5/20)
- 町営観光施設としては初めて昭和天皇が箱根湿生花園に御来園 (7/3)
- 【平成3 (1991) 年】
- 箱根・元箱根の幼稚園が統合され、箱根幼稚園が完成 (3/18)
- 箱根関所観覧者2千万人を達成。2千万人目は愛媛県の女性 (10/24)
- 【平成15 (2003) 年】
- 大涌谷自然科学館が閉館し、31年の歴史に幕を閉じた (3/31)
- 幼保合同カリキュラムによる保育ができる仙石原幼児学園が落成 (4/16)
- 箱根駅伝予選会が開催され、37校が熱戦を繰り広げた (10/18)



今年「未年」です。  
「未」は象形文字で、植物が生い茂ったさまを、また、果実が熟して滋味が生じた状態を意味します。牛や馬と並んで人間との付き合いが長い動物であった羊(ヒツジ)が、読み方として採用されました。家族の安泰や平和をもたらす縁起物ともいわれています。  
未年生まれの方は、温厚で人情味がありながら、芯が強く負けず嫌いの頑張り屋の面も併せ持ちます。競争よりもチームワークを大切に、その中で自らの力を発揮するのが得意な人が多いようですが、これは羊が群れをなして行動することに関係しているのかもしれませんが。  
未来や前人未到など、「まだ」「これから」といった意味をもつ「未」。  
何か目標を定めて「やり遂げた」一年後を迎えたいですね。

これまでの未年  
箱根町が誕生してから初めて迎えた未年は「さわやか律子さん」の中山律子さんが活躍し、ボウリング・ブームが巻き起こった昭和42年です。ファッション界ではミニスカートの妖精・ツイッギーの来日で、ミニスカートが大流行しました。  
懐かしのアニメ「黄金バット」のテレビ放映や「天才バカボン」あしたのジョー」の連載も始まりました。  
次の未年、昭和54年は、昨年噴火した木曾の御嶽山が有史以来の水蒸気爆発をした年です。ヒット曲「贈る言葉」や「YOU'N G MAN」などは、今も幅広い世代で歌われています。この年の流行語は「ダサイ・ナウい」です。ナウいという言葉は、今の若い世代はもう使わないでしょうか。  
「ドラえもん」や「機動戦士ガンダム」のテレビ放映もスタートし、これらは今なお不動の人気を誇っています。  
ソビエト連邦崩壊(東西冷戦の終結)や、雲仙普賢岳の大規模火砕流、昭和の大横綱千代の富士引退など、衝撃的なニュースが次々と飛び込んできた平成3年。双子のおばあちゃんが「ぎんは100歳、ぎんも100歳」の台詞で一躍人気者になりました。さらに12年後の平成15年、今度は貴乃花(2代目)が引退を決めました。また、スペースシャトル・コロンビアの空中分解という痛ましい事故もありました。  
しかし、野球界では松井秀喜氏がニューヨーク・ヤンキースに入団するなど、明るい話題もあった年でした。